

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R4.7.27)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コックロデニウム
						spp.	ミキモトイ	アカシオ	ポリクリコイデス
1. 大在	8:27	0	24.8	—	—	0	0	125	0
2. 神崎	8:43	0	24.6	—	—	0	52	50	0
3. 古宮	9:06	0	24.6	—	—	0	0	0	0
4. 一尺屋	9:22	0	24.5	—	—	0	18	25	0
5. 下の江	9:46	0	25.1	32.86	7.9	0	1	25	0
		2	23.8	32.98	8.2	1	36	0	0
		5	22.8	33.07	7.6	0	114	0	0
6. 下の江(奥)	9:55	10	22.2	33.24	7.0	0	58	0	0
		0	25.2	32.83	7.6	0	0	0	0
		8	22.3	33.17	7.3	0	127	0	0
7. 日ノ浦	10:23	0	25.6	32.93	7.7	0	9	0	0
		5	23.9	32.99	7.7	0	34	0	0
8. 三つ子養殖場 大分みらい水産	10:06	0	24.7	32.97	7.8	0	10	0	0
		11	22.5	33.13	7.5	0	77	0	0
9. 三つ子養殖場 臼杵海産	10:02	0	25.5	32.91	7.9	0	26	0	0
		11	22.6	33.11	7.6	0	80	0	0
10. 黒島	10:15	0	24.5	33.02	7.5	0	23	0	0
		12	22.2	33.21	7.2	0	8	0	0
11. 日代	11:20	0	—	—	—	1	70	0	0

連絡事項:

有害プランクトンのシャットネラspp.、カレニア・ミキモトイとヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

特にカレニア・ミキモトイは増加傾向です。

魚介類の管理に十分ご注意ください。

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/cc)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アワビ、ササエ等ではキムノデニウム・ミキモトイで100~200細胞/ccで斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

